

中期経営計画の最終年度が好スタート 高付加価値の環境配慮型商品が需要拡大

決算サマリー

● シモジマは11月10日引け後に26/3期Q2決算を発表した。主要数値は、売上高が前年同期比4.9%増、営業利益が同27.5%増、親会社株主に帰属する当期純利益が同28.0%増で、中期経営計画の最終年度に向けての力強いスタートとなった。季節要因として、下期はクリスマスや年末商戦を含むため、上期に比べて業績が伸びやすい傾向がある。25/3期は、上期と下期で明暗が分かれた。物流費の上昇やベースアップに伴う人件費の増加に加え、円安の急激な進行による原材料価格の高騰もQ2の粗利率（売上総利益率）の悪化につながった。同社は主にQ3において価格改正分をうまく転嫁することができ、上期は低調だったものの下期に回復を示した。脱プラスチックの流れは加速しており、環境配慮型商品の需要が拡大している。原材料費が為替レートの安定により抑えられたことから粗利率は改善した（右チャート参照）。

● 販売チャネル別では、**営業販売部門**は、付加価値の高い環境配慮型商品が売上に寄与した。**店舗販売部門**では、イベント需要やインバウンド需要、特に大阪・関西万博2025関連の需要増加により売上が拡大した。**通信販売（EC）部門**は、株式会社グローバルブランド（愛知、名古屋）が連結対象から外れたことにより、売上高が若干減少した。しかし、シモジマモールへの商品掲載点数が140万点を超えたことや、新規顧客をサイトに誘導することを目的としたWEB広告の強化を背景として、長期トレンドは好調を維持している。商品セグメント別では、**化成品・包装資材**が前年同期比6.8%増、**店舗用品**が同0.3%増、**紙製品**が同4.2%増となり、すべての商品セグメントの売上が前年同期比で増加した（下記参照）。

シモジマ 26/3期上期決算および通期決算予想

百万円、%	FY22/3	FY23/3	FY24/3	FY25/3	FY26/3	FY26/3
[J-GAAP]	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	期初予想
売上高	22,427	26,017	28,130	29,265	30,707	63,500
YoY	-1.2	16.0	8.1	4.0	4.9	4.6
商品セグメント別						
化成品・包装資材	12,677	15,115	16,854	17,863	19,086	
YoY	1.6	19.2	11.5	6.0	6.8	
店舗用品	5,648	6,330	6,519	6,757	6,780	
YoY	-14.5	12.1	3.0	3.7	0.3	
紙製品	4,100	4,572	4,757	4,644	4,840	
YoY	13.6	11.5	4.0	-2.4	4.2	
売上総利益	6,995	8,126	9,338	9,275	9,947	
売上総利益率	31.20%	31.2%	33.2%	31.70%	32.4%	
販管費	7,331	7,695	7,718	8,210	8,589	
対売上高比率	32.70%	29.6%	27.4%	28.10%	28.0%	
営業利益	-335	431	1,620	1,065	1,357	3,575
YoY	—	—	275.9	-34.3	27.4	19.7
営業利益率	-1.5%	1.7%	5.8%	3.6%	4.4%	5.6%
経常利益	-171	594	1,809	1,178	1,560	3,800
当期純利益	-107	434	1,187	821	1,051	2,500

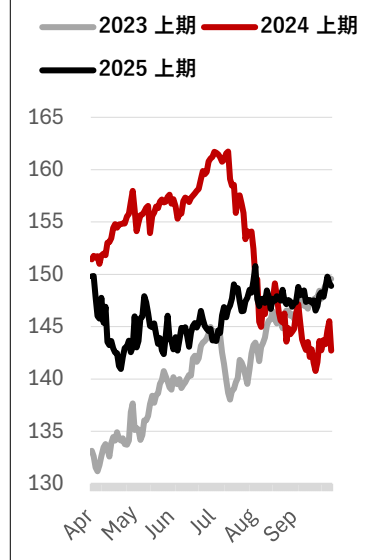
出所：同社決算短信よりSIR作成。

注：SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

Q2 Flash



米ドル-円の上期推移



出所：SPEEDAよりSIR作成。

アナリスト
クリス・シュライバー CFA
research@sessapartners.co.jp



本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレマーをご覧ください。

LEGAL DISCLAIMER

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp